



## 平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月1日

上場取引所 東

上場会社名 テラ株式会社  
 コード番号 2191 URL <http://www.tella.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 矢崎 雄一郎  
 (氏名) 山本 一之

TEL 03-5572-6590

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	640	95.0	△84	—	△93	—	△96	—
26年12月期第1四半期	328	△5.4	△106	—	△123	—	△84	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 △100百万円 (—%) 26年12月期第1四半期 △86百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	△6.97	—
26年12月期第1四半期	△6.15	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	3,675	2,397	62.9
26年12月期	3,396	2,499	70.8

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 2,310百万円 26年12月期 2,406百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,207	17.1	△194	—	△171	—	△184	—	△13.40
通期	2,221	19.1	△365	—	△353	—	△381	—	△27.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期1Q	13,795,156 株	26年12月期	13,795,156 株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	239 株	26年12月期	239 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期1Q	13,794,917 株	26年12月期1Q	13,684,370 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社を取り巻く環境につきましては、再生医療・細胞医療の推進がアベノミクスの成長戦略における重点施策の一つとして位置付けられております。そのための法規制整備として、平成25年4月には、再生医療の実現を促進する「再生医療を国民が迅速かつ安全に受けられるようにするための施策の総合的な推進に関する法律」が成立、同年11月には、再生医療等製品を新たに定義し、条件付（早期）承認制度の実現等を明記した「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」及び細胞加工業の事業化の実現等を旨とした「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」が成立し、本分野の実用化、さらには産業化を促進する環境整備が進展しております。

このような状況の下、当社グループは、がんワクチンの一つである樹状細胞ワクチン「バクセル® (Vaccell)」を中心とした研究開発、全国の医療機関に対する営業開拓、セミナー等を通じた患者に対する情報提供、学会等での発表を中心とした学術活動、大学・研究機関等に対する細胞加工施設の運営受託・保守管理サービス、細胞培養関連装置の販売、CRO事業、少額短期保険事業及び医薬品事業等を行ってまいりました。

当第1四半期連結累計期間につきましては、細胞医療事業における症例数の増加に加え、医療支援事業が好調に推移したため、売上高は640,306千円（前年同期比312,013千円増、95.0%増）、利益面につきましては、薬事承認取得に向けた開発活動を本格化する中、医薬品事業において開発費用が先行していること、また医療支援事業において、細胞培養関連装置の販売に係る仕入の増加及び一部連結子会社が立ち上げフェーズにあること等により、営業損失は84,810千円（前年同期は106,590千円の損失）、経常損失は93,347千円（前年同期は123,960千円の損失）、四半期純損失は96,219千円（前年同期は84,147千円の損失）となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① 細胞医療事業

細胞医療事業は、樹状細胞ワクチン「バクセル®」を中心とした独自のがん治療技術・ノウハウの提供を契約医療機関に行っております。

患者に対する情報提供活動につきましては、「がん治療セミナー」を当社契約医療機関と共同で、北海道、宮城県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、兵庫県、広島県、福岡県及び熊本県にて開催いたしました。

全国の医療機関に対する営業開拓活動につきましては、医師向けのがん治療フォーラム等のセミナー開催を中心に幅広く認知活動を展開いたしました。

研究開発活動につきましては、平成27年1月に樹状細胞ワクチン「バクセル®」と抗がん剤の併用における膵臓がん患者の予後予測因子についてがん専門誌「ANTICANCER RESEARCH」に、平成27年3月に樹状細胞ワクチン「バクセル®」の臨床研究結果について「Cancer Science」に発表されました。

当第1四半期（1月～3月）の樹状細胞ワクチン「バクセル®」の症例数は約310症例となり、当社設立以降の累計で約9,250症例となりました。

当第1四半期連結累計期間につきましては、売上高は、症例数が前年同期と比べ増加したことにより271,209千円（前年同期比19,861千円増、7.9%増）、利益面につきましては、売上高の増加に加え、研究開発費等の販売費及び一般管理費が減少したことにより、営業損失は17,881千円（前年同期は55,979千円の損失）となりました。

#### ② 医療支援事業

医療支援事業は、研究機関、医療機関からの細胞加工施設の運営受託及び保守管理サービス、消耗品及び細胞培養関連装置の販売、少額短期保険商品の販売及びCRO事業並びにゲノム診断支援事業等を行っております。

当第1四半期連結累計期間につきましては、売上高は、細胞培養関連装置の販売等が順調に推移したことに加え、イメージングCRO事業及び保険事業の売上の拡大により、369,097千円（前年同期比207,808千円増、128.8%増）、利益面につきましては、売上高が大幅に増加したものの、細胞培養関連装置の販売に係る仕入の増加及び一部連結子会社が立ち上げフェーズにあること等により営業損失は39,963千円（前年同期は5,913千円の損失）となりました。

#### ③ 医薬品事業

医薬品事業は、がん治療用再生医療等製品として樹状細胞ワクチンの薬事承認取得に向けた開発体制の整備を

強化するとともに、その開発活動を推進しております。

平成27年3月に、再生医療・細胞医療の要素技術である免疫細胞用凍結保存液の製造、販売に関する独占的通常実施権を取得いたしました。当社は、子会社であるテラファーマ株式会社に再実施権を許諾し、樹状細胞ワクチンを搬送する際に用いる凍結保存液の実用化を図り、薬事承認取得に向けた準備を加速させてまいります。

当第1四半期連結累計期間につきましては、薬事承認取得に向けた開発活動を推進しており、営業損失は34,395千円（前年同期は38,778千円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は前連結会計年度末から278,690千円増加し、3,675,356千円となりました。流動資産は前連結会計年度末から230,546千円増加し、2,416,443千円となりました。この主な要因は、金融機関からの借入れによる現金及び預金の増加であります。固定資産は前連結会計年度末から48,143千円増加し、1,258,913千円となりました。この主な要因は、細胞医療事業における敷金の差入れによる増加であります。

負債総額は前連結会計年度末から381,485千円増加し、1,278,327千円となりました。流動負債は前連結会計年度末から295,762千円増加し、660,582千円となりました。この主な要因は、医療支援事業における細胞培養関連装置の販売に係る仕入債務の増加であります。固定負債は前連結会計年度末から85,723千円増加し、617,745千円となりました。

純資産は前連結会計年度末から102,795千円減少し、2,397,029千円となりました。この結果、自己資本比率は62.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年2月6日付「平成26年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました内容からは変更ありません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,749,478	1,987,904
受取手形及び売掛金	297,662	258,686
原材料	9,027	7,129
前払費用	37,883	41,565
立替金	20,301	36,736
繰延税金資産	156	2,601
未収還付法人税等	45	178
その他	71,536	81,786
貸倒引当金	△196	△145
流動資産合計	2,185,896	2,416,443
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	227,056	219,227
工具、器具及び備品(純額)	227,135	213,253
リース資産(純額)	18,451	26,389
有形固定資産合計	472,643	458,870
無形固定資産		
ソフトウェア	91,415	85,892
のれん	47,969	46,128
特許実施権	20,133	33,134
その他	6,335	5,884
無形固定資産合計	165,854	171,041
投資その他の資産		
投資有価証券	379,335	376,233
敷金	110,062	156,138
保険積立金	13,596	13,610
繰延税金資産	4,340	3,976
その他	64,935	79,042
投資その他の資産合計	572,271	629,001
固定資産合計	1,210,769	1,258,913
資産合計	3,396,666	3,675,356

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,049	224,452
短期借入金	—	95,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	152,360	172,360
リース債務	12,814	12,119
支払備金	2,085	1,018
責任準備金	253	257
未払金	100,594	89,082
未払法人税等	10,936	3,385
その他	36,725	42,906
流動負債合計	364,819	660,582
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	420,390	462,300
リース債務	14,607	23,418
長期預り敷金	50,537	97,111
資産除去債務	19,622	19,685
繰延税金負債	3,598	3,598
その他	3,264	1,632
固定負債合計	532,021	617,745
負債合計	896,841	1,278,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,332,178	1,332,178
資本剰余金	1,203,855	1,203,855
利益剰余金	△129,346	△225,565
自己株式	△270	△270
株主資本合計	2,406,417	2,310,198
新株予約権	11,128	17,310
少数株主持分	82,279	69,520
純資産合計	2,499,825	2,397,029
負債純資産合計	3,396,666	3,675,356

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	328,292	640,306
売上原価	131,109	387,633
売上総利益	197,183	252,673
販売費及び一般管理費	303,773	337,483
営業損失(△)	△106,590	△84,810
営業外収益		
受取利息	402	595
不動産賃貸収入	19,412	19,514
助成金収入	432	—
その他	167	2,531
営業外収益合計	20,415	22,641
営業外費用		
支払利息	1,669	1,876
社債利息	287	108
持分法による投資損失	—	3,102
不動産賃貸原価	19,412	19,514
株式交付費	5,384	—
支払保証料	166	84
その他	10,863	6,491
営業外費用合計	37,784	31,178
経常損失(△)	△123,960	△93,347
特別損失		
持分変動損失	—	7,480
固定資産除却損	—	454
特別損失合計	—	7,935
税金等調整前四半期純損失(△)	△123,960	△101,283
法人税、住民税及び事業税	676	1,407
法人税等調整額	△37,813	△2,080
法人税等合計	△37,137	△672
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△86,822	△100,610
少数株主損失(△)	△2,674	△4,391
四半期純損失(△)	△84,147	△96,219



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△86,822	△100,610
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△86,822	△100,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△84,147	△96,219
少数株主に係る四半期包括利益	△2,674	△4,391

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額に前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	細胞医療 事業	医療支援 事業	医薬品 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	251,347	76,945	—	328,292	328,292	—	328,292
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	84,343	—	84,343	84,343	△84,343	—
計	251,347	161,288	—	412,635	412,635	△84,343	328,292
セグメント損失(△)	△55,979	△5,913	△38,778	△100,671	△100,671	△5,918	△106,590

(注) 1. セグメント損失の調整額△5,918千円には、セグメント間取引消去△1,162千円及び固定資産の調整額7,080千円が含まれております。

2. セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「医療支援事業」セグメントにおいて、事業譲受による企業結合を行ったため、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては、27,424千円であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	細胞医療 事業	医療支援 事業	医薬品 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	271,209	369,097	—	640,306	640,306	—	640,306
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	271,209	369,097	—	640,306	640,306	—	640,306
セグメント損失(△)	△17,881	△39,963	△34,395	△92,240	△92,240	7,430	△84,810

(注) 1. セグメント損失の調整額7,430千円には、セグメント間取引消去6,501千円及び固定資産の調整額928千円が含まれております。

2. セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。